

12月定例会は12月4日から24日までの21日間の会期で開催されました。



佐伯文化会館での 最後の成人式

トピックス

- ・平成30年度決算を認定 (P2~3)
- ・定例会の概要 (P4)
- ・各常任委員会における視察報告 (P15)
- ・各常任委員会における要望活動 (P16)

★ 市議会は、受付の名簿に氏名等を記入するだけで傍聴できます。お気軽にお越しください。

★ 市議会に関する情報は佐伯市のホームページから閲覧できます。

検索

どう使われた!?

令和元年10月23日から25日までの3日間、決算特別委員会を開催し、平成30年度佐伯市各会計決算の審査を行い、12月定例会にて認定しました。

歳出総額 460億1,221万円

平成30年度決算規模は、歳入総額469億5,594万5,000円、歳出総額460億1,221万円で、差し引いた収支は9億4,373万5,000円となりました。財政指標の状況は、経常収支比率が98.4%と前年度より悪化しており、普通交付税の減額がその大きな要因になっています。

市債(市の借金)総額 544億7,077万1,000円

市債残高は、一般会計で490億8,695万9,000円となっており、前年度より17億5,535万5,000円減少しました。特別会計は53億8,381万2,000円で、前年度より4億4,312万3,000円減少しました。全体では、前年度より21億9,847万8,000円減少しました。

基金(市の貯金)総額 270億9,666万9,000円

佐伯市には、27の基金があります。基金総額は、270億9,666万9,000円で、前年度より12億8,410万4,000円減少しました。

平成30年度決算を認定
今後の予算へつなげる

主な質問

保育所等の就職支援事業

質問 保育士が不足している状況下で、保育士の確保に向けて、どのように取り組んでいるのか。

答弁 学校を卒業して、保育士になられた方に対する就職準備金を用意している。前年度は6名の応募があり、全員が佐伯市に就職した。

公民館施設整備事業

質問 蒲江地区公民館で雨漏りをしているが改修の予定は。

答弁 蒲江地区公民館に限らず、古い公民館が市内に数多くある。それぞれの施設で点検を実施している。その点検の結果の中から、計画的に整備していきたい。

みんなの税金

総務費

地域おこし協力隊設置事業

4,482万7,743円

6地区にて、16名が活動しています。



定期連絡会の様子

民生費

放課後児童クラブ運営事業

1億4,735万5,217円

23クラブある放課後児童クラブを運営しています。



教育費

小学校スクールバス運行事業

7,251万6,278円

定期路線等が利用できない区域の児童・生徒を対象にスクールバスを運行しています。



総務費

佐伯創生推進総合対策事業

9,465万9,730円

地域の活性化、地域住民の安心・安全・伝統芸能・伝統文化の保存と継承、イベント等を支援しています。



衛生費

エコセンター番匠延命化事業

2億7,437万4,000円

老朽化した廃棄物処理施設の設備等を更新するものです。



12月定例会の概要

12月定例会は、12月4日から12月24日までの21日間で、行われ、予算議案9件、予算外議案30件、専決処分報告1件が提出されました。全て原案のとおり可決・承認されました。



「スポーツビジネス産業展」に出展

日本のスポーツビジネスが近年拡大傾向にあります。このような状況を受け、スポーツビジネスを支援するあらゆるサービス・製品が一堂に集まる専門見本市を2018年に初開催。第2回目となる2019年は社数・規模が拡大しています。2020年は、2月5日から7日まで、幕張メッセで開催されます。

質疑

市はどのような出展をするのか。

答弁

スポーツビジネスを支援するあらゆるサービス、製品が一堂に集まる専門見本市である。来場者はプロスポーツ、トップリーグや実業団チーム、大学、高校、各種スポーツ団体、またアスリート、スタジアム、アリーナ等であり、合宿誘致として、本市と静岡県との2団体が出展する予定で、佐伯市大会等誘致事業（予算額107万3000円）として計画している。



▲スポーツビジネス産業展の様子

一般会計補正予算の主な事業

ひとり親家庭医療費助成事業
約539万円



対象者の増加により医療費助成の増額が見込まれるため。

子育てのための施設等利用給付事業
約354万円

幼児教育・保育の無償化に伴う認定こども園等の預かり保育利用料の無償化に要する経費。



補正額

7億5,297万9,000円

(予算総額532億2,887万7,000円)

繁殖雌牛安定生産対策事業
約242万円

繁殖農家が繁殖雌牛(子牛)の増頭を行う取り組みを支援するための助成金。



生活保護扶助事業
2億5,000万円



医療費扶助費の大幅な増額が見込まれるため。

総務常任委員会

予算外議案6件
全て可決すべきものと決す

光ケーブルネットサービス いよいよ始まる

現在、本匠地域においてネットワークの光化の整備工事を行っており、今回の条例改正は令和2年4月1日からの光ケーブルネットワークサービスの開始に伴うものです。1年間の移行期間を設けて本匠地域におけるこれまでの同軸ケーブルによる情報サービスは終了します。

質疑 光化後の利用料金はどのようなのか。

答弁 現在、行政エリアは7300円で、CTSエリアは14300円と倍近い差がある。特別会計の性質上、財政的にも厳しい状況にあり、料金の改定を改めて提案する。

交通安全指導隊員の皆さん いつもありがとう！

市内の交通安全を保持するため、これまでは交通安全指導隊設置条例を定め、隊員を特別職非常



▲交通安全指導隊の活動の様子

勤職員として委嘱し、子どもたちを中心に佐伯市民の交通安全指導を行っていただいています。今回の地方公務員法の一部改正により個別の契約に基づき業務を実施することとなります。

質疑 条例の廃止で今後の組織化についてはどうなるのか。

答弁 現状の状況と変わらないような方向で考えている。組織としても残るような要綱を定めていく。

建設経済常任委員会

予算外議案16件、専決処分の報告1件
全て可決・承認すべきものと決す

財産の無償貸付により 地域活性化を！

市外から情報通信関係企業を誘致することで、新たな産業の創出、雇用人口の拡大により地域活性化を図るため、宇目サテライトオフィスの一部をグース株式会社が無償で貸付けするものです。

また、地域農産物等を活用した香料原料の開発等を通じて地域経済の活性化を図るため、旧色宮小学校ランチルームを小川香料おいた佐伯農場株式会社に無償で貸付けするものです。

佐伯市グリーンパーク直川 指定管理者が決定

指定管理期間の満了に伴い、指定管理者を指定するものです。候補者は、前回に引き続き、直川カントリー倶楽部管理組合で、指定期間は令和2年4月1日から令和7年3月31日までとするものです。

質疑 2候補者で市からの委託料に差があるが、選定委員会に審議されたのか。

答弁 委託料についても選定委員会の中で議論があった。

質疑 指定管理候補者を選んだ理由は何か。

答弁 選定基準の三つの大項目のうち二項目で上位であったことや、運営経験など総合的に判断し決定した。



▲佐伯市グリーンパーク直川の様子

教育民生常任委員会

予算外議案9件
全て可決すべきものと決す

深島集会所を地元譲渡へ
有効活用に期待！

さいき学校給食センター
令和2年2学期スタート

深島集会所は昭和51年2月に、蒲江地域の深島地区に建設された集会施設で、市の指定管理者制度により深島区が管理しています。

令和元年11月に同地区から無償譲渡の要望書が市に提出されたことから、佐伯市蒲江集会所条例の深島集会所の規定を削除し、指定管理期間の変更を行うものです。

現在建設中の給食センターを新たに設置することに伴い、名称、位置及び対象校等を定めるものです。

(名称)
佐伯市さいき学校給食センター

(位置)
佐伯市大字長谷4895番地1

(対象校)

佐伯小学校
佐伯東小学校
渡町台小学校
佐伯幼稚園
佐伯東幼稚園
渡町台幼稚園

(施行期日)

令和2年8月25日

(給食調理・配送業務委託業者)
さくら運輸株式会社

(整備事業費)
16億6700万7000円



▲深島集会所



▲さいき学校給食センター完成予想図



公の施設の指定管理者が決定しました

12月定例会において議決された指定管理者一覧

(単位：円)

施設名称	指定管理者となる団体	選定の方法	市からの委託料 令和2年度分
佐伯市グリーンパーク直川	直川カントリー倶楽部管理組合	公募	8,000,000
佐伯市鉱泉センター直川	鉱泉センター直川管理組合	公募	8,380,000
佐伯市直川憩の森公園	T A B I D O K U(タビドーク)	公募	3,920,000
佐伯市鶴見海望パーク	株式会社 海神	公募	500,000
佐伯市うめキャンプ村	野外学校Feel Our Soul(フィール アワ ソウル)	公募	3,390,000
佐伯市直川米麦乾燥調製施設	有限会社 直川ライスセンター	公募	0

一般質問

12月10、11、12、13日

※一般質問の掲載について

一般質問の記事は、議員の責任において、本人が質問・答弁の原稿を作成しています。その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載しています。

なお、一般質問の掲載順序は紙面の都合上、質問順とは異なります。



質問者	質問の要旨
佐藤 元	1. 農業委員会について 2. 損害賠償事件について 3. 防災対策について
上田 徹	1. 防災スピーカーの使用について 2. 各種補助金について 3. 佐伯中央病院アリーナの空調設備について
森 三千年	1. 有害鳥獣対策について 2. 公共施設廃止後の利活用について
飛高彌一郎	1. 防災対策について 2. 佐伯文化振興会の補助金について 3. 印刷物の発注について 4. 女島第二市民ふれあい農園について 5. 職員の招へいについて
河野 豊	1. 国道217号戸穴バイパスの進捗状況について 2. 県道床木海崎停車場線の進捗状況について 3. 女島埠頭について
後藤 勇人	1. 消防行政について 2. 子育てアプリについて
本田 房代	1. 地域防災について 2. 有機農業推進について 3. 地域づくりについて
塩月 健治	1. 防災体制について 2. 蒲江地区公民館の雨漏りについて 3. 合併処理浄化槽について
吉良 栄三	1. 佐伯文化会館について 2. 各地域で保有(展示)している歴史・郷土・民俗資料について 3. 予算編成と総合計画について
大野 達也	1. パートナーシップ宣誓制度について 2. 観光産業の振興に向けた連携について 3. 佐伯地区公民館について
瀧野 芳弘	1. 介護保険事業について 2. おおいた子育てほっとクーポンについて
高司 政文	1. 城山及び佐伯文化会館の跡地利用について 2. 民法改正に伴う市営住宅の制度改正について 3. 国民健康保険税均等割の減免について
福嶋 勝彦	1. 周辺部地域の振興策について 2. 有害鳥獣捕獲班について 3. 有害鳥獣侵入防護柵について
矢野 幸正	1. 佐伯市洪水ハザードマップについて 2. 文化財の保存・活用について
富松 万平	1. キャッシュレス決済について 2. 豪雨災害について
御手洗秀光	1. 市道馬場先新女島線女島橋架替工事について
浅利美知子	1. 児童虐待防止対策の強化について 2. 幼児教育無償化に伴う対応について 3. 放課後児童クラブの利用料金(会費)について
井上 清三	1. 市の財政状況について
西條 隆洋	1. 障がい者福祉の取組について 2. 第2次佐伯市総合計画における1次産業の振興策について



防災対策について

佐藤 元

問 平成29年の台風18号からの災害復旧事業と今後の佐伯市の防災対策について問う。

答 平成29年の台風18号で発生した199か所の土砂流出については、生活に係るなど緊急性の高い箇所から順次対応し、平成29年度末までには撤去を完了している。
河川の堆積物の撤去については、著しい堆積が生じている箇所から重点的に撤去を実施しており、今後も早期の土砂撤去を進めたいと考えている。



▲台風18号の被害状況



有害鳥獣対策の強化は！

森 三千年

問 捕獲頭数の推移と傾向について問う。

答 過去5年間の捕獲頭数については、イノシシは2000から3000頭で推移しており、捕獲を継続していかなければならない状況。シカは7347頭から4781頭に減少。サルは100頭以上で推移していたが、平成30年度は半減。小動物は数百頭で、年によって変動している。

問 捕獲による被害防止効果について問う。

答 イノシシの侵入による稲の被害は17ha、山林でも被害情報はないため、捕獲による効果が上がっていると考えられる。引き続き、捕獲の取組を継続する必要がある。

問 小動物の捕獲報償金の増額について問う。

答 本市の報償金は、県下では中位に位置している状況であり、一定程度の捕獲効果が表れていると推定されるため、当面は現状を維持したい。今後は、被害状況を調査し、また猟友会の方々の協力を得ながら対策を講じていきたい。



防災スピーカーを 使うときは！

上田 徹

問 防災スピーカーを使用するときの規則はあるのか。

答 使用に当たっては、運用目的や使用要領などを規定している。また、放送機器操作マニュアル等も作成している。

問 防災スピーカーをイベントや地区内での行事等で使用できるのか。

答 基本的には、突発的な災害又は災害が予想されるときに、正確な情報や避難を呼びかけるために使用するものである。その他の防災スピーカーの使用については、市民生活に著しく影響を及ぼす場合に使用している。
また、防災スピーカーの使用習熟度を高め、いく観音寺から、地区内の行事等に使用することを認めている。



▶防災スピーカー



女島埠頭について

河野 豊

問 貨物等の輸入及び輸出の推移を問う。

答 輸入は、平成26年の7万9176トンから平成30年には31万1838トンと5年間で約4倍に増加、主な要因は平成28年から取引が開始されたバイオマス発電所の燃料（パームヤシ殻）による。輸出は平成26年の3万3081トンから10万1196トンと5年間で約3倍に増加、大半が中国向けの原木輸出によるもので、志布志港に次いで全国2位となっている。

問 クルーズ船「ばしふいっくびいなす」初寄港に伴う経済効果、課題等を問う。

答 乗客355人のうち、175人がオプショナルツアー参加。城下町・本匠大水車・鶴御埼灯台など市内ツアーに、101人が参加。その他の乗客や乗員245人がシャトルバスを利用し、山際通り散策やショッピング、タクシーをチャーターするなどして市内を巡っていた。市内での消費額は、埠頭内の特産品販売やオプショナルツアーで、約167万円となっている。課題は、市内で食事や買い物をするための受入体制が不十分であったこと、シャトルバス・タクシーの導線が分かりにくかったことなどで、早速関係者間で情報共有し、改善を図る。



女島第二市民ふれあい農園で有機農業を！

飛高 彌一郎

問 令和元年10月26日にオープンした女島第二市民ふれあい農園について、整備の目的と女島第一市民ふれあい農園との違いを問う。

答 女島第二市民ふれあい農園の整備の目的は、営農として有機農業をめざす生産者の育成である。女島第一市民ふれあい農園との違いは、その目的から、化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないように努めなければならないとしたことである。

問 ブロック等で区画割りをしているが、工事費について問う。また、なぜ農地をブロック等で区画割りをしたのかを問う。

答 女島第二市民ふれあい農園の総工事費は、55万4800円である。区画のブロックは、第一市民ふれあい農園の利用者の声から、各区画の境界を明確にし、隣接者のほ場の草などの影響が及ばないようにすること、土が区画から流出しないようにすることなどのために設置している。



▲女島第二市民ふれあい農園

問 住宅用火災警報器は、全ての住宅に設置が義務化されているが平成31年3月末時点の市内の設置状況を問う。また、電池交換の目安は10年といわれ、電池切れの心配があるがその周知について問う。

答 本市の住宅用火災警報器の設置状況は、令和元年6月1日現在で76%である。この数値は、消防庁が実施する住宅用火災警報器設置状況調査方法に基づき、本年4月に調査世帯を無作為に100世帯抽出し、消防職員が直接訪問し、その結果を消防庁が公表している。住宅用火災警報器は、10年を経過すると部品の劣化や電池切れの不具合が起りやすくなることから、日常的な動作確認を行い、不具合が生じた場合には機器本体を交換する必要がある。

答 周知については、市報やホームページへの掲載を始め、ケーブルテレビやFMさいき等のメディアの活用、加えて避難訓練や防火講話の際にも機器交換の必要性を説明し、広く市民へ周知している。また、火災予防週間には、管内の婦人防火クラブと協力して機器交換のリーフレット配布に合わせて説明も行っている。



住宅用火災警報器のチェックを！

後藤 勇人



予防できる 児童虐待死を防ぐ

浅利 美知子

問

児童虐待による死亡、命を救える機会をこれ以上逃してはならない。虐待死を防ぐという強い意識を関係者が持ちたい。昨年、県の児童相談所（以下、児相）が受けた虐待の新規相談件数は962件、本市の状況を問う。

答

0歳から2歳児が11件、3歳から6歳児14件、小学生25件、中学生3件で、合計53件であった。

問

相談や通告後の対応を問う。

答

48時間以内に児童の安全確認をし、緊急度の高いケースは児相や警察と連携している。また、佐伯市要保護児童対策地域協議会で情報を共有し、個別ケース会議で今後の支援を協議している。

問

虐待の要因に目を向けることが大切である。産後うつや多胎児家庭への支援を問う。

答

来年度から産科医や助産院の協力で「産後ケア事業」を開始する予定である。育児支援の必要な家庭への支援を強化していく。

問

佐伯市に児相設置を望むが、考えを問う。

答

国の基準に照らすと小規模となり、24時間365日対応は難しいと思われる。



蒲江地区公民館の 雨漏り対策は

塩月 健治

問

蒲江地区公民館の雨漏りの状況は。

答

蒲江地区公民館については、これまで1、2階のロビー及び大ホール、中ホールなどで雨漏りが発生している。その都度、部分補修で対応したが、大規模な改修が必要な箇所もある。

問

大規模改修を行う考えは。

答

雨漏りの原因としては、特定箇所破損等ではなく、屋上部分全体の防水機能の劣化によるものであり、小規模な修繕では、根本的な解決にはならないと考えている。

公共施設総合管理計画に沿って雨漏りに係る改修についても検討したいと考えているが、当面は機能を維持しながら応急対応していきたいと考えている。



▲蒲江地区公民館



予算の枠配分方式とは！

吉良 栄三

問

来年度の当初予算においては、枠配分方式を導入し予算編成すると聞いているが、具体的な編成方針は。

答

本市の財政状況は普通交付税の縮減等の影響により、財政調整基金を取崩した財政運営を余儀なくされており、今後も人口減少等の影響により、歳入の減少が見込まれている。来年度からの予算編成については、収支均衡を図り限られた一般財源を有効活用するため、これまでの積み上げ方式を見直して、政策予算と部局予算の仕分けを行い、その枠内で配分された一般財源額により、各部局において予算編成を行うものである。枠配分方式を導入することにより、各部局が自らの権限と責任で予算を編成することから、事務事業の見直しとコスト意識の向上が図られることにおいても、非常に有効な予算編成であると考えている。具体的には、令和2年度の予算編成に当たり、政策予算については義務的経費を除いた対前年度比で20%削減し、部局予算については5%削減した額を予算要求枠として配分している。来年度から枠配分方式を導入することにより、歳入の更なる確保と歳出については創意工夫と事務事業の見直しにより、市民ニーズに即した真に必要な事業の構築に努めていきたい。



要介護認定は、調査員で差異が生じないか

濱野 芳弘

問 要介護認定は、県内でも佐伯市は審査が厳しいとの声があるが、調査員によって認定結果に差異が生じることがあるか問う。

答 要介護認定は、介護サービスの給付に結びつくことから、その基準は全国一律に客観的に定められている。認定は調査員による心身の状況調査と主治医意見書に基づき、コンピュータによる一次判定を行っており、適正に判定している。本市の要介護認定率は、介護予防に力を入れた結果、その成果が表れたものであり、健康寿命も県下上位になっている。



みんなで考えてほしい!!

西條 隆洋

問 障がい者に対する窓口業務の対応マニュアルはあるのか。

答 障害者差別解消法に明記されている行政機関等の合理的配慮の義務化に基づき、障害を理由とする差別的解消の推進に関する対応要領を定め窓口対応に活用している。

問 保育所や幼稚園、小中学校の管理者や教員等における発達障がい児への対応は。

答 保育所等では、特別な講義等を受けた保育コーディネーターを中心に適切な保育を行うとともに児童発達支援センターの支援専門員の派遣等を受けて、子どもたちが集団生活に適応するためのアドバイス等を受けている。小中学校では、特別支援教育等に関する研究会への参加や特別支援コーディネーターを配置し、支援体制や相談対応等の充実を図り適切な就学支援に取り組んでいる。

問 発達障がいのある方の避難体制はできているのか。

答 避難行動要支援者として名簿を作成しており、本人や家族の同意を得た上で個別避難支援プランの作成を関係者をお願いしている。



城山の活用と佐伯文化会館跡地の利用はどうする?

高司 政文

問 城山(佐伯城址)の国指定に向けた考えや課題及び城山の石垣等の調査結果について問う。

答 佐伯城跡については、平成21年度からの第1次調査で、保護と活用の基礎資料となる平面図を、また、平成27年度からの第2次調査で、石垣カルテを作成した。この結果水利施設とみられる石垣や本丸北斜面に階段状の石垣の存在が明らかになり、専門家からも国指定をめざすだけの価値はあるとの評価ももらった。教育委員会として国指定に向けた調査・研究を進めていく。国指定には三の丸も含める必要があるため、その整備が課題である。

問 佐伯文化会館について、毛利氏との賃貸借契約の現状と跡地利用の今後の方向について問う。

答 毛利家との賃貸借契約については、令和4年3月31日付で切れるが、契約の延長はしない。この土地は歴史的な価値もあり、市民にとっても大切な財産であるので市が購入し、利活用を図りたい。



▲階段状の石垣



今後の周辺部地域の振興策は

福嶋 勝彦

問

「旧町村の活性化なくして佐伯の元気はない。」との考えに変わりはないと思うが、今後の周辺部地域の振興をどのように行っていくのかを問う。

答

かねがね「周辺部の活性化なくして佐伯の元気はない。」と言ってきた。

そのため、第2次総合計画で掲げた「地域が輝くまちの創生」では、策定段階から地域の皆さんと議論を重ね、各地域の課題を踏まえて特色ある振興方針を具体的に示したところである。

そして、この計画を着実に実行するため、まず、振興局の充実、強化を図った。地元出身者や地域振興の業務に経験を有する職員を重点的に配置して、住民のニーズをくみ上げ、スピード感を持って対応をする体制を整えた。

また、「佐伯創生推進総合対策事業」や「がんばる里・浦地域活力向上事業」といった地域が使いやすい事業を創設した。

今後とも、市民とともに地域の元気づくり



▲青山黒沢地区で開催された泥んこバレーボール大会の様子



▲ラグビー日本代表を応援するカブトムシのモニュメント

問

小規模多機能自治推進ネットワーク会議への加入目的とその活用について問う。

また、先進地の雲南市のような住民自身による住民の主体的活動を基本とする地域づくりを進めていく考えはないか。

答

少子高齢化などにより、住民自治組織は様々な問題に直面している。この会はこうした問題意識を持つ自治体等により平成27年に発足し、「地域内のことを自ら考え、決定し、実行する」組織の構築をめざして研修会等を行っている。佐伯市は平成30年2月に加入。先進事例を学び、今後の課題解決のヒントを得るため参加している。

また、本市は平成30年度から「新たな住民自治組織のあり方について」調査研究する市内プロジェクトチームを立ち上げ、日田市、宇佐市を視察し、協議・検討している。今後は、雲南市も参考にしながら、地域の課題は地域で解決する住民主体の自治組織の構築に着手したい。

問

本庁内に周辺地域（上堅田、下堅田、青山、木立、大入島、八幡、西上浦）の地域づくりに特化して業務を行う部署を設置できないか。

答

現在、来年度に向け、新たな住民自治組織を推進する部署を検討している。



地域づくりコミュニティ

本田 房代



市道馬場先新女島線 女島橋架替工事の早期完成を

御手洗 秀光

問 施工手順はどのようになっているのか。

答 令和元年度から令和3年度の間は、河川内の構造物の工事となり作業用の盛土を行うため、大雨や台風による災害が懸念される出水期には施工できず、11月から5月までの非出水期での施工となる。令和元年度に歩行者用の仮設橋を設置し、既設橋の上部工を撤去する。令和2年度に中の島側の下部工の橋台と川の中の橋脚を撤去し、その後、杭基礎工事と下部工本体の工事をそれぞれ行う。令和3年度には新女島側の橋台の撤去と杭基礎工事、下部工本体の工事を行う予定。令和4年度に上部工を施工し、仮設橋を撤去した後に舗装などの仕上げの工事を行い完成となる。

問 令和3年6か月の工期は長すぎるのではないか。

答 令和2年度と令和3年度に実施予定の下部工の工事は、河川内の工事であり、非出水期での施工しかできないため、現段階で工期を短縮することは厳しいと考えているが、1日も早く完成させ、市民の安心安全を図れるよう努めたい。



「パートナースhip宣誓制度」 の導入を

大野 達也

問 2015年、東京都世田谷区で同性カップルをパートナーとして認める取組「パートナースhip宣誓制度」が導入され、その後全国的な広がりを見せている。

婚姻のような法的効果はないが、社会の理解も少しずつ進み始めており、「病院での面会」、「生命保険での死亡保険金の受取人の指定」、「公営住宅の入居」などができるようになった事例がある。

佐伯市としても取り組むべきと考え、市の見解は。

答 佐伯市ではまだ、市全体が受け入れる体制が整っていない。当面の間は啓発活動を実施する。

多様な性とは？

一般的に「性」は「男性」「女性」に分けて考えられますが、「性」の在り方はもっと多様なものとして、以下の4つの要素で捉えることができます。

1 身体の性 (からだ)	2 心の性 (性自認)
生まれた時の 戸籍上の性別	自分で自分をどのような 性別だと思うか
3 好きになる性 (性的指向)	4 表現する性
どの性別を 好きになるか	服装やしぐさ、 言葉づかいなど

一人一人に個性があるように、性の在り方もさまざまです。「身体の性」と「心の性」が異なる人や、「好きになる性」が異性ではない人もいます。



人口減とともに厳しさを増す 市財政の健全化について

井上 清三

問 議員は、直接選挙で選ばれた公職として、市政の課題を把握し、市全体を見据え、市民の多様な意見を反映させることが使命である。予算実行、実施が適正に、かつ公平、効率的、民主的であるかをチェックし、計画どおりの効果、成果を確認し、市民に説明が課せられている。令和2年の国勢調査にて、人口激減等で地方交付税が大幅減少、また市税の減収、限界集落の増加で、超高齢化社会になり、医療・介護や公共施設の整備、インフラの老朽化、大手前整備事業の維持管理費の増加がある。したがって、人口が減少しても歳出が減らない。しかし厳しい財政状況でも、将来の佐伯市への人材育成の投資、防災危機管理等、命に関わる事業など、無駄なく実効性の高い施策を実行する。本市の諸課題に的確に対応し、多様化・複雑化する市民ニーズを捉え、財政健全化が実現することを期待するが、新たな行政改革について問う。

答 今後、行政経営推進プランを策定し、人件費の削減、枠配分予算編成等で一般財源の抑制、市債残高削減で公債費の抑制、各種公共施設の統廃合等で歳出の削減、企業版ふるさと納税やネーミングライツによる歳入の確保など、各項目を着実に実施することでプランに掲げる目標を成し遂げる。



佐伯市洪水ハザードマップについて

矢野 幸正

問 2015年の水防法改正で国交省は最大降雨量を100年に一度程度から1000年に一度程度に上げた。本市の想定の前提になる雨量は法改正に沿ったものか。

答 平成5年の台風7号鹿児島県霧島市で発生した九州管内の降雨数値を採用している。

問 マップに表示されている浸水（冠水）実績箇所は、直近2年に発生した実績箇所を表示しているが、過去の最大降雨時のエリアを表示すべきではなかったのか。

答 市及び佐伯土木事務所が把握している浸水実績箇所を提示している。

問 洪水浸水想定区域外は、土石流危険区域に指定されている箇所が多く、洪水だけでなく土石流やため池決壊、津波被害予想区域など総合的なハザードマップとしての作成が必要ではなかったのか。

答 佐伯土木事務所の土石流危険区域の調査が管内全て終わっていないため総合的なマップの作成は困難であった。

問 マップの活用の周知・啓発について問う。

答 各地の避難訓練等に活用していきたい。



▲佐伯市防災パトロールの様子



▲佐伯市洪水ハザードマップ
(市のHPで公開しています。)



問

災害被害箇所への調査、対策は。

答

担当部署による現地調査を行い、必要に応じて復旧対策を実施している。また、5月に、「防災パトロール」を実施し、状況確認や警戒避難体制の確保に努めている。

問

米水津竹野浦地区の竹野浦川は、最近の事例だけでも10年を置かず同じ箇所が氾濫している。その対策は。

答

過去3回の氾濫については、いずれも流木や土砂の流出により河川が塞がり、氾濫したものと考えている。流木や土砂の流出については、大分県が現在建設中の砂防ダムが完成することにより大幅に解消でき、氾濫は減少するものと考えている。

問

2基の砂防えん堤の完成予定は、令和4年度、令和7年度である。えん堤の性能を十分に発揮できるように河川及び側溝等の改修をする考えはないか。また、完成するまでの維持管理を普段から徹底すべきではないか。

答

河川及び側溝等の改修についての必要性については大分県とも協議していきたい。また砂防ダムの完成までは、振興局とも連携を取りながら維持管理の徹底に努めたい。



被害が多発する 災害箇所への対策は！

富松 万平

総務常任委員会視察

8月7日から8日の2日間で実施

- 福岡県朝倉市の災害復旧計画について
- 地理空間情報を活用した地域防災への利活用について

復興計画と
防災情報を
学ぶ

朝倉市では、担当課長から九州北部豪雨で甚大な被害を受けたながらも、早急な対応に当たったその取り組みを学びました。

被害状況の把握、仮設住宅や借り上げ住宅、また被害ゴミの処理などについて質疑・答弁がありました。

九州大学では、防災研究センター長の三谷教授の講義を受けました。パソコンやスマホ等を活用し、現地を確認する職員や地元区長の情報を全員が共有することが大切であるとの話を聴きました。

この視察では、災害時における市議会議員として関与の在り方や2次災害を生まない情報の重要性など多くのことを認識することができました。



▲九州大学での受講の様子

建設経済常任委員会視察

11月5日から7日の3日間で実施

- 石川県かほく市の上下水道施設の包括的民間委託について
- 富山県魚津市の魚津市民バス運行事業について
- 富山県黒部市のPFI事業による下水道汚泥パイオマスエネルギーの利活用について

民間の知識・
活力を
生かして

黒部市の下水道バイオマスエネルギー利活用施設は、民間事業者の資金・経営能力及び技術力を活用する国内第1号稼働案件で、PFI事業による先駆的な事業として注目されています。

これまで埋め立てやセメント原料として処分されてきた下水道汚泥にコーヒー粕を混ぜてメタン発酵処理を行うことで発生したバイオガスを熱源に、処理後の汚泥を乾燥させて燃料・肥料にリサイクルし、さらに「発電」もして施設運転エネルギーとしており、下水道汚泥の有効利用で、循環型社会を実現しています。PFI事業による取り組みはこれから先、積極的に展開していくべき手法の一つではないかとの印象を受けました。



▲黒部市での視察の様子

教育民生常任委員会視察

10月29日から31日の3日間で実施

- 岩手県雫石町の旧大村小学校利活用事業について
- 岩手県紫波町の情報交流館オガールプロジェクト(図書館コース)について

廃校を地域
コミュニティ
の拠点に

雫石町の南部にある旧大村小学校は、児童数減少に伴い2017年3月閉校になりました。閉校後の学校利活用について、地域住民有志によって組織した「旧大村小学校利活用実行委員会」で話し合いを重ねながら、定期的に産直市を開催しています。

利活用の方法については、すぐに取り組める事業として地区で採れる山菜やきのこのほか、野菜や花苗、山菜の加工品、薪、手芸品、工芸品など、定期的に産直市を開催するほか、学校の給食室を利用して、地域住民による手作り料理を提供する運営もしています。

閉校した学校の利活用と地域のコミュニティの活性化は本市においても重要な課題であり、提案してまいります。



▲雫石町での視察の様子

佐伯市の発展を願い 国へ要望活動

11月18日から21日の間、3 常任委員会は、佐伯市の更なる発展と市民の願いを届けるために中央省庁に要望書を提出しました。

▶ 総務常任委員会

ケーブルテレビ光化で
情報インフラの充実を！

「ケーブルテレビ事業者の光ケーブル化に関する緊急対策事業」の拡大について

総務省に要望書を提出しました。



▶ 建設経済常任委員会

東九州自動車道4車線化の早期実現を！

①東九州自動車道「大分宮河内から佐伯間」の4車線化の早期事業化について

②社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金の拡充・必要額の確保について

国土交通省に要望書を提出しました。



▶ 教育民生常任委員会

子ども医療費助成制度の創設を！

子ども医療費助成に係る国民健康保険国庫負担金の減額措置の全面廃止と国による子ども医療費助成制度の創設について

厚生労働省に要望書を提出しました。



11月19日
(火曜日)
【視察団】
日向市議会
【研修事項】
議員政策研究会
について



▲視察の様子

◆ 行政視察の受入れ ◆

3月定例会のお知らせ(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26	27	28	29
			議運 本会議 (閉会日)		予算 特別委員会	
3/1	2	3	4	5	6	7
		議運・本会議 (代表・一般 質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
8	9	10	11	12	13	14
	建設経済 教育民生 (委員会)	総務 (委員会)	予算 特別委員会	予算 特別委員会	予算 特別委員会	
15	16	17	18	19	20	21
			議運 本会議 (閉会日)			

編集後記

初めてのことはどんなことでも緊張します。初めての広報委員としての編集後記担当。プレッシャーを感じます。

議員になって3年目、この議会だよりは議員の手により原稿・構成・編集の全てが行われています。今年度から広報委員になった私にはその大変さを今まで知ることがありませんでした。どうすれば市民の皆さんに議会活動をわかりやすく伝えることができるのか、頭を突き合わせて試行錯誤しています。

令和となり、世の中が期待に満ちている感をかんでいるのは私だけでしょうか？

新しいことにチャレンジすること、立ちはだかる壁を越えること、ようですが、その先に成長した未来があると思うと、チャレンジすることをやめられません。

令和2年も成長を期待してチャレンジしていきたいものです。二度目の編集後記にて、成長を見せられるよう私も頑張っていきます。

広報委員 西條 隆洋

本会議等の録画映像などは市議会のHPで公開しています。

